



子どもから大人まで 自分らしく輝き 認め合う社会へ

第39回

豊橋男女共生フェスティバル

報告書

令和8年1月18日（日）

第39回豊橋男女共生フェスティバルを終えて

第39回豊橋男女共生フェスティバル実行委員会 実行委員長 小杉 賀洋子

今年のフェスティバルは、多くの方々のご協力のもと、これまでと同様、温かい雰囲気の中、無事に開催することができました。オープニングでは、二胡の澄んだ音色が会場に響き、躍動感あふれる幕開けとなりました。

続く講演会では、エッセイストで元高校教諭の宮本延春さんをお招きし、「オール1の落ちこぼれ、教師から主夫になる～性別で決まらない役割分担～」と題して、男女共同参画についてわかりやすくお話しいただきました。

幸せや家族の形は十人十色であり、自分らしさを大切に生きることが幸せにつながるのだと感じました。ご自身の体験を交えたユーモアのあるお話に、多くの方々が共感し、改めて自分らしく生きることについて考える機会となりました。

今年のテーマ「子どもから大人まで 自分らしく輝き 認め合う社会へ」にふさわしく、性別や年齢にかかわらず、互いを尊重し合うことの大切さを実感する時間でした。

午後の分科会は、「親子で学ぶ性の健康講座」「不登校・発達障害・子育て困ったしゃべり場」「多世代 de リズム遊び！」の三つのテーマで開催しました。子どもから大人まで幅広い世代の方が参加し、笑い声が聞こえたり、真剣に耳を傾ける姿も見られました。参加者と講師とのやりとりも活発で、充実した時間となりました。

また、バザーや活動発表などを開催してくださった各グループの皆さまにも感謝申し上げます。笑顔で会場を包み、フェスティバルを温かい雰囲気にしていただきました。ご参加・ご協力くださった皆さまに、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

開会式

「茉莉花日台音楽交流会」の皆さんによる、華やかな二胡の演奏でスタートしました。

長坂尚登豊橋市長からは、「このフェスティバルが、市民ひとり一人が、性別や思い込みに捉われず、男女がともにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、よりいきいきと暮らせる家族や社会のあり方を模索できる機会となるのではないかと期待している」と挨拶がありました。



講演会

オール1の落ちこぼれ、教師から主夫になる ～性別では決まらない役割分担～



講師

宮本 延春さん

エッセイスト、元 高校教諭、作家

著書『オール1の落ちこぼれ、教師になる』で知られる元教師。いじめが原因で学校嫌いになり、中1の成績はオール1。23歳の時に見たアインシュタインのビデオに衝撃を受け、豊川高校定時制部、名古屋大学に進学し物理学を学ぶ。現在は、自身の体験から夢と希望と感動を与え続けている。

●著書

『宇宙を感じる七日間』『こころの羅針盤—親から子へ伝えたい60章』『逆境力』『キミのためにできること』『未来のきみが待つ場所へ 先生はいじめられっ子だった』

『オール1の落ちこぼれ、教師になる(1)(2)』など

宮本さんは、中学卒業後に建設会社で働きながら勉強を続け、豊川高校、名古屋大学、大学院へと進まれました。その後、母校の豊川高校で数学教師として教壇に立たれるとともに、多くの著書を発表されています。

今回は「性別では決まらない役割分担」と題し、ご自身の育った家庭での役割分担や現在のご家庭での役割分担についてお話しいただきました。男性だから、女性だからではなく、それぞれの家庭にとってふさわしい形を探すことの大切さについて学びました。

催しと活動発表

【分科会】

不登校・発達障害・子育て困ったしゃべり場
企画：新日本婦人の会豊橋支部



【分科会】

多世代 de 遊ぶ！まんまりズム
企画：NPO まんま



【分科会】

どうしたらいいのかわからなくてすごく不安！
子どもへの性教育『親子で学ぶ性の健康講座』
企画：NPO とよはし CAP



絵本でティータイム

企画：わっぱの会



ふれあいコンサート

企画：ハッピーグループ



ぶどうのツルを使ったリースづくり

企画：農村輝きネット・東三河



催しと活動発表

「聴く」そして「体験」
企画：豊橋マリimbaの会



「豊橋の女性活動のあゆみ」の配布
企画：豊橋女性団体連絡会



高校生が描いた原爆の絵展
企画：新日本婦人の会豊橋支部



ひとりでも家族でも
家事ってみるか
ラクカジセミナー
企画：市民協働推進課



バザー

企画：豊橋おやこ劇場協議会、箏曲蘭友会、
(公社)豊橋市シルバー人材センター綺羅の会、
SIMONEKO、社会福祉法人豊生ら・ばるか、
NPO法人手しごと屋豊橋

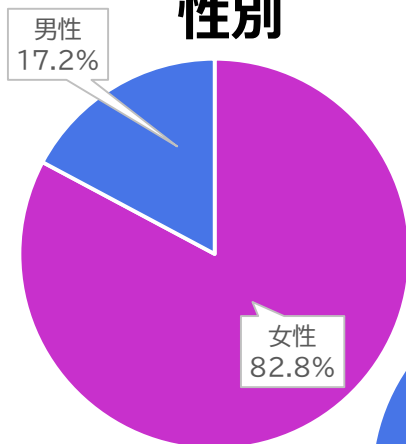


個別おしごと相談
企画：ママ・ジョブ・あいち

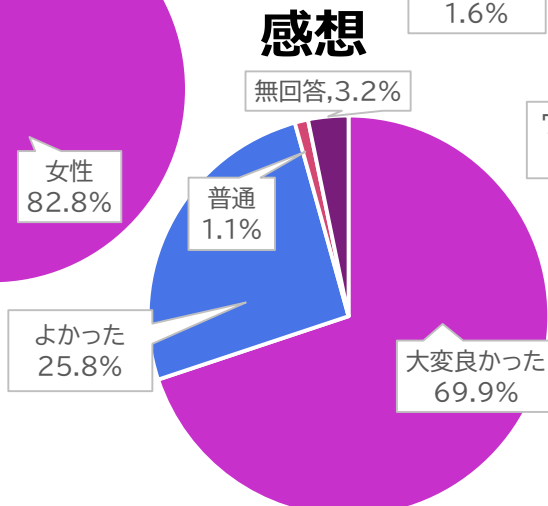


講演会アンケート結果

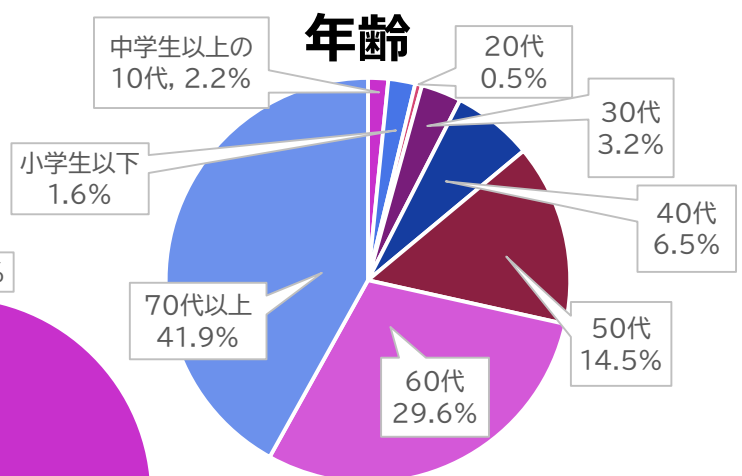
性別



感想



年齢



回答者数：186名

講演会アンケート結果

講演会に参加された方の声

- ・ 考え方一つで幸せに感じたりありがたいと思ったりできるんだということがわかりました。自分らしく家族と楽しく生きたいと思いました。
- ・ 大変良いお話でした。もっと多くのここに来ていない人にも聞かせてほしいです。
- ・ 宮本さんの人生を聞き、人間は強い生き物だと感じました。もう少し力を抜いて自分、そして相手とかかわっていかうと思います。
- ・ 多様性やダイバーシティを尊重して自分らしくジェンダーバイアスにとらわれず、ワークライフバランスを大事にしていきたいです。
- ・ いろいろなものの考え方を変えると価値観が変わり、自分らしく生きられるのだと思いました。
- ・ 男性が家事育児をすることに抵抗感が無くなり、積極的に行う空気を社会全体で作っていけばよいと思いました。



第39回豊橋男女共生フェスティバル実行委員会

<実行委員会所属団体>

わっぱの会、とよはし未来を拓く会、豊橋おやこ劇場協議会、東三にじの会、新日本婦人の会豊橋支部、ハッピーグループ、豊橋商工会議所女性会、マザーズサポートきらら、豊橋マリンバの会、(公社) 豊橋市シルバー人材センター綺羅の会、SIMONEKO、箏曲蘭友会、農村輝きネット・東三河、NPOとよはしCAP、NPOまんま、NPO法人 手しごと屋豊橋、茉莉花日台音楽交流会、豊橋女性団体連絡会
全 18 団体

発行：豊橋男女共生フェスティバル実行委員会・豊橋市
〒440-8501 豊橋市今橋町 1 豊橋市 市民協働推進課
電話 0532-51-2188/FAX 0532-56-5128

(令和8年2月発行)